

第 96 回本郷ふじやま公園古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜市南部地域・通算第 11 回目・金沢区その 5」

本郷ふじやま公園古民家歴史部会員

長谷川 一郎

平成 27 年 4 月 8 日(水)

「能見台一手子神社ほか」

*集合：「京急・能見台駅」改札前へ 9 時 50 分厳守同時出発。

駅前より「釜利谷高校」行きバスに乗車 →「シティ能見台西」バス停下車

(1)行 程： 下記「探訪先」と同じため略。

(2)食事 場所： 自由行動

(3)探 訪 先： 金沢区役所「横浜金沢魅力帳」及び「金沢八景巡り地図」
などを参考にした。

「シティ能見台西」バス停より 「六国峠ハイキングコース」へ

① 谷津関が谷不動尊(滝の不動明王)： 小さな祠が鎮座している。

② 能 見 堂 跡： 能見堂は、寛文年間(1661～73)に当時の領主・久世大和之守が、芝増上寺の子院を移設し、地蔵菩薩を本尊として再興した地蔵院(正式名略)で、現在ここには、江戸時代の庶民百数十人によって建てられた「金沢八景根元社」の石碑が残っている。

③ 浅 間 神 社： 寛仁年間(1017～2.1)に摂政藤原道長が能見堂に来遊し、能見堂から金沢の景観を展望し、眼下に見える山を「塗桶山」と名付け富士浅間大神を勧請して建てられたといわれる。祭神の木花咲耶姫(このはなさくやひめ) は、安産の神様だ。

④ 正法院(しょうぼういん)： 今から 1200 年ほど前、弘法大師がこの地に井戸を掘り、その水で不動明王像を描き、護摩の祈禱を厳修したのが始まりという。当院の裏山には、「赤井の不動様」として不動明王が祀られている。

⑤ 手 子 神 社： 社伝によると、文明 5 年(1473)、当時の釜利谷の領主・伊丹左京亮(さきょうのすけ) が、瀬戸神社の分霊を勧請したのが起源といわれ釜利谷村の総鎮守である。境内には、千尋の谷から這い上がる子とじつと待つ親という珍しい狛犬がある。

*帰り：「小泉バス停」より、バスで「金沢文庫駅前」へ (解散)

以上

歴史探訪
横浜市南部地域・金沢区その5

第96回 4月8日(水)

能見台—手子神社ほか



谷津関が谷不動明王



能見堂跡広場



正法院



手子神社